



瀬戸内町立 嘉鉄小学校



児童数 18 人
学級数 3 クラス



《テーマ》 人権尊重の精神に基づき、心豊かでたくましく、自ら考え、判断し、ねばり強く実践する子どもの育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
<p>本校の人権教育の目標として「差別の解消をめざして、全教育活動の中で人権尊重の教育を推進する」、「差別を見抜いて、差別を許さない」、「やる気を出して、本気で学習し、仲間を助ける」を挙げている。</p> <p>児童一人一人の人権意識を更に高揚させ、目標実現を図りたいと考え、このテーマを設定した。</p>	<p>① 6月27日（火）職員研修（オンライン）で職員への人権教育への理解を深めた。</p> <p>② 11月30日（月）人権教室で人権同和教育課指導主事が講師となり、児童の人権意識を深めた。</p> <p>③ 1月22日（月）職員研修（対面）で、同和問題を中心に講義を実施した。</p>

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

<p>□ 人権教室の充実</p> <p>県教育庁人権同和教育課から講師が派遣され、児童に対して質の高い人権教育を実施することができた。自分たちの権利について知ることを通して、自分を大事にすることや相手の権利も大事にすることを学んだ。参加型学習で理解しやすく、児童が興味をもって学ぶことができた。</p>	 <p>【児童への人権教室】</p>
<p>□ 校内掲示の充実</p> <p>校内には、児童が作成した『人権標語』や『人権の花』を掲示した。また、「心がホッとしたとき（安心したとき）」を付箋に書き、掲示した。自分の好きなことや安心する時について表現したり、友達をより深く知ったりすることができる取組で、学校全体に、より深く人権意識を浸透させることができた。</p>	 <p>【人権標語の掲示】</p>
<p>□ 家庭・地域への啓発</p> <p>『学校だより』や『学級通信』等で取組を紹介することで、家庭や地域の方々にも広く情報発信することができた。</p>	

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

<p>□ 子どもたちが、誰とでも仲良くすることの大切さや必要性、仲間づくりの大切さを学ぶことができた。これまで以上に人権意識が高くなったと実感している。</p> <p>□ 今後も、継続して人権意識を高める教育活動に努め、子どもたちのより良い人間関係づくりを進めていきたい。</p>
--